

秋がきました。最近では8月後半から授業をやる学校がふえていますから、すでに学校が始まっている先生方もいるかもしれません。この夏は、オリンピック、増税案通過、中韓との領土を巡る紛争などで、心配されていた電力危機はどこかに飛んでいってしまった感じでした。とはいえ、問題が解決されたわけではないので関心を持ち続けることは大事です。ネットワークでは、一年の活動の山場である夏の経済教室が無事終了。5会場で延べ1,000人を超える先生方が集まり熱い学びの時を過ごしました。今月もそんなネットワークの活動の報告とこれからの予定をお送りします。

◆ 目次

【 1 】 最新活動報告

夏の経済教室を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

この秋の活動の予定などを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

■夏の経済教室での参加者が1,000人突破しました。

今年も、8月2日から各地で夏の経済教室を開催しました。

日程とそれぞれの会場での参加者数は、以下の通りでした。

広島	2日(木) 高校対象 48名	
	3日(金) 中学対象 28名	
大阪	6日(月) 中学対象 109名 (昨年比-2)	
	7日(火) 高校対象 99名 (-9)	
名古屋	8日(水) 中学対象 81名 (+18)	
	9日(木) 高校対象 49名 (-30)	
東京高校	16日(木) 167名 (+23)	17日(金) 165名 (+27)
東京中学	20日(月) 144名 (+25)	21日(火) 119名 (+31)
延べ人数で1,009名 (+32)		

初めての広島会場は、中学の先生方の研修会と重なり参加人数が少なかったのですが、高校の部は中国各地から40名を超える先生方が参加がありました。高校の部では、<コーポレートガバナンス>、<戦後国際経済史>、<入試問題を活用した経済学習>、<法と経済>という四つの密度の濃い講義を熱心に受講されていました。中学校の部では、教科書で読み解く経済、学習指導要領、体験的授業提案の講義を受講するとともに情報交換会がありました。特に情報交換会は少人数ゆえの密度の濃い質疑や情報の交流ができ好評でした。

大阪会場は、国際会議場になり、新鮮な気持ちで連日 100 人近い先生方が参加されました。高校の部では、今回はじめてとなる<国民所得>の講義が好評でした。また、中学の部では、授業提案と情報交換が好評でした。

名古屋は、会場は昨年おなじウインクあいちで大阪に引き続き開催されました。中学の部では、二つの講義と授業提案が行われました。授業提案では、東京の三枝先生と地元の伊藤先生の提案があり、情報交換会も熱心に行われました。高校の部では、一日四つの講義が行われました。

東京会場は、二年ぶりの東京証券取引所です。高校の部では、第一日には、三つの講義とともに、柳川範之先生の経済の考え方に関する講演がありました。柳川先生は、オープン討論方式で質問を投げかけながら経済の考え方のエッセンスを丁寧に説明されました。二日目は二つの講義に加えて、大竹文雄先生の幸福の経済に関する講演がありました。ブータンの幸福調査で関心が高まった幸福観と経済発展の関係を様々な調査を踏まえて説明していただきました。特に、ブータンの幸福度は調査そのものが問題で、標準型調査をすると日本とあまりかわらないというお話は、意外な事実でした。もう一つ、福田慎一先生のマクロ経済に関する講演があり、新しいマクロ経済学の知見が紹介されました。

中学の部は、講義、講演に加え、三つの実践提案がされました。一日目の講演の松井彰彦先生は、経済学のすすめをゲーム理論を使って具体的に説明してくれました。実践提案では、二日目に登場した大阪の河原先生の授業実践は参加の先生方に強いインパクトを与えたようです。また、情報交換会も他の会場に比べ多人数でしたが、5 つのグループに分かれ熱心に質疑が行われました。

今年の経済教室は、はじめて参加者が延べ人数で 1,000 人を超え、経済教室の定着と広がりを感じさせる教室となりました。

各講義と講演の内容の詳細は下記の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/index.html>

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を日程順に掲載します。

■札幌部会 (No.4)を開催します

日時：2012年9月1日(土) 14時30分～16時30分

場所：キャリアバンク セミナールーム (Sapporo55 ビル 5階)

内容、参加方法など詳細は下記の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo004flyerR.pdf>

■東京部会 (No.51)を開催します

日時：2012年9月25日(火) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部 7号館 13階会議室

内容は、夏の経済教室の総括、教材の検討などです。参加方法は下記の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo051flyer.pdf>

■大阪部会 (No.30)を開催します

日時：2012年10月13日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学大阪サテライト

内容、参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka30flyer.pdf>

■京都部会 (No.16)を開催します(暫定的)

日時：10月26日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 光塩館2F 第二共同研究室

内容、参加方法など詳細が決まりましたらネットワークHPでお知らせします。

【 3 】授業のヒント

「頭の中を外に出す」

夏の経済教室で、岐阜大学の杉先生がトゥールミン図式を紹介していました。トゥールミン図式は、イギリスの科学哲学者トゥールミンによって提唱された分析や意思決定のプロセスを図式化したもので、データをもとに、主張を導き出すのに、理由付けと理由付けの裏づけ、さらには留保条件を付けて導き出すプロセスです。これは頭のなかでいろいろ考察したものを外にだすことで明確化してゆこうとする一つのやり方です。

授業のなかで、価値判断や論争的テーマを扱うときに、このように図式やもっと簡単にした図式を使うことで判断のプロセスを外に出して検討することができます。

トゥールミンよりもっと簡単な方法に、シーナ・アイエンガーが『選択の科学』文藝春秋社、で紹介しているベンジャミン・フランクリンのものがあります。それによると、フランクリンは、難しい問題が起こったら「紙のまんなか一本の線を引いて、上下二つにわけ、上半分に賛成の理由、下半分に反対の理由を書き出すとよい」と友人にアドバイスしているとのこと。こんな簡単な方法でも頭のなかでごちゃごちゃ考えているより、よほど問題が明確になり、その上で、書き出した内容を、理由を考えながら適否を判断してゆくことで問題に対する整理ができるでしょう。

上下ではなく、ノートを左右にわけて賛否を考えさせた上で、問題の得失を書かせ、さらに問題を共有しながら深めるという方法などでもよいかもしれません。ちなみに、アイエンガーは、先日NHK教育テレビで放映された『コロンビア白熱教室』のインド系の盲目の社会心理学者で、彼女が作った選択日記というノートも発売されています。(新井)

【 4 】編集後記(みみずのたはこと)

夏の経済教室は、各地で開催されます。今年は、広島、大阪、名古屋、東京と「転戦」しました。それぞれの場所で名物に出会うことも一つの楽しみです。

初開催地の広島では、終了後、お好み焼き村にゆきました。一つのビル全体がお好み焼きの

屋台風の店で占められているところです。エレベーターを降りたすぐの店のおばちゃんに声をかけられ、他を比較することもなく「これもご縁だから」と入りました。経済学的に言えば、無差別の選好曲線ということになりそうです。お好み焼きは美味しかったのですが、着ている服が油くさくなりちょっと困惑。大阪は昨年と異なりハイソなビルで、ご苦労さん会も小じゃれたりバーサイドカフェでした。これも新しい大阪です。名古屋では、私は名物を味合う間もなく終了後すぐに新幹線に飛び乗り、ちょっと遅めの夕食を自宅で食べることができました。名古屋は近いということでしょう。東京では、時間の関係でチェーン店にてお疲れ会。ネットワークの先生方でしっかり開拓された先生もいらっしゃるようですが、私は開拓不足を痛感。灯台もと暗しなのかもしれません。

さて、来年はどんな出会いがあるでしょうか。(新井)

=====

登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◆◆◆ —————